

2月26日（水）注意

みなさんは、^{ともだち}友達に^{ちゅうい}注意をされたことはありますか。「^{ろうか}廊下を^{はし}走っちゃだめだよ」とか「^{しず}静かにして」とか。一度はありますよね。その時はどんな気持ちがしましたか。きっと少し、^{いや}嫌な^{きも}気持ちになったのではないのでしょうか。



^{きのう}昨日、^{よねんせい}四年生が^{どうとく}道徳で^{まな}学び合っていたのは、そんな^{ばめん}場面でした。転校していった^{ともだち}友達から、きれいで大きな絵はがきが^{とど}届きますが、^{りょうきん}料^た金^{へんじ}が足りませんでした。^{へんじ}返事にそのこと、「^{りょうきん}料^た金^かが足りなかった」のことを書いた^{ほう}方がよいか。それとも「^{れい}お礼^{しゅじんこう}だけ」にしておくか。主人公の子は^{なや}悩^みみます。

^{にい}お兄さんと^{かあ}お母さんは^{ちが}違うことを言います。^{りょうきんぶそく}料^た金^い不足だったことを「^か書^{ほう}いた^か方^{れい}がいい」、「書^{ほう}かずに^{れい}お礼^{ほう}だけの方がいい」。二人の言うことも分かる^き気がします。

^{なや}悩んだ^{すえ}末に、主人公の子は「^{りょうきん}料^た金^かが足りなかった」ことを、^{へんじ}返事に^か書^{ともだち}く^{ともだち}ことにします。なぜなら、^{ともだち}友達だからです。友達だから^{ちゅうい}注意できる。注意しても^わ分^{しゅじんこう}かってもらえる。主人公の子は、^{ともだち}友達だから^{ちゅうい}注意をしたのです。